

研究課題名「病的骨折が大腿骨転移性骨腫瘍患者に与える影響の調査 —東海骨軟部腫瘍コンソーシアム多機関共同研究—」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は、2005 年 1 月から 2022 年 12 月の間に、名古屋医学医学部附属病院及び共同研究機関にて大腿骨転移性骨腫瘍と診断され、手術を行った方です。

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究の目的と意義は、病的骨折が大腿骨転移性骨腫瘍患者の生命予後等に与える影響を明らかにし、大腿骨転移性骨腫瘍の治療におけるエビデンスの構築に寄与することです。

研究方法：多施設共同・後方視的観察研究で行います。

大腿骨転移性骨腫瘍で手術を行っている方を対象とし、生命予後、合併症、術後歩行能力、術後 performance status に影響を与えた因子を検討します。

研究期間：実施承認日 ～ （西暦） 2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主要アウトカム：生命予後

副次アウトカム：合併症、術後歩行能力、術後 performance status

曝露・予測因子：骨転移診断時年齢、性別 Performance Status、診断時血液生化学所見（LDH,Aib,CRP）、原発部位、原発巣治療情報、化学療法既往、他の骨転移の有無及び部位、他臓

器転移の有無及び部位

他に集める情報：大腿骨転移巣の部位及び腫瘍径・性状、大腿骨転移巣に対する放射線照射歴、術前的大腿骨病的骨折歴、術式、術後の放射線治療の有無、免荷の要否、術後合併症及び再手術の有無

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

名古屋大学医学部附属病院希少がんセンター・病院助教・酒井智久

愛知医科大学整形外科・講師・河南勝久

愛知県がんセンター整形外科・部長・筑紫聡

岡崎市民病院腫瘍整形外科・部長・細野幸三

岐阜大学整形外科・講師・永野昭仁

静岡がんセンター整形外科・医長・和佐潤志

名古屋記念病院整形外科・部長・小澤英史

名古屋市立大学病院整形外科・講師・木村浩明

浜松医科大学整形外科・講師・紫藤洋二

福井大学整形外科・教授・松峯昭彦

藤田医科大学整形外科・講師・下山哲生

三重大学整形外科・講師・浅沼邦洋

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

名古屋大学医学部附属病院 希少がんセンター

病院助教・酒井智久

名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学医学部医学系研究棟

1 号館 12 階 整形外科学講座

052-744-1908

岐阜大学医学部附属病院 整形外科

講師・永野昭仁

058-230-6000（代表）

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院希少がんセンター 酒井智久

研究代表者：名古屋大学医学部附属病院希少がんセンター 酒井智久